

# 端末を用いて遠隔地のゲストティーチャーとつなぎ、 対話を通して考えを深める学習

第2学年 | 世界から見た日本の資源・エネルギー産業

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 自分の考えを広げ深めるために、仲間に資料を示して主体的に調べたことを説明することができました。
- 実社会で働く人との対話を通して、資源・エネルギー問題について多角的に考えることができました。

協働学習支援ツールを用いて仲間の考えを可視化する。



生徒自身が考えを交流したい相手を選択して、目的をもってスクランブルに交流する。

- ・立場ごとに色分けされたカードから、自分の立場に合ったカードを選択し、課題に対する考えを記述する。
- ・課題に対する仲間の考えを、学習支援ツールを用いて共有する。
- ・仲間の考えを見て、自分が交流したい相手を選択し、目的意識をもって交流する。

## 教師の指導のポイント

- 自分と同じ立場から考えているのか、違う立場から考えているのか生徒が視覚的に捉えることができるようにする。
- 自分の考えを広げ深めるために、生徒自身が主体的に交流できるようにする。

遠隔地のゲストティーチャーとオンラインでつなぎ、対話を通して学びを深める。



遠隔地のゲストティーチャーとオンラインでつなぎ、対話的な学びを生み出す。

- ・アプリを用いて、遠隔地のゲストティーチャーとオンラインでつなぐ。
- ・実社会で働く人から話を聞くことで、資源・エネルギー問題について、多角的に考える。



ゲストティーチャーとの双方向での意見交流を通して、学びを深める。

- ・これまでの学習で疑問に思っていたこと等について、ゲストティーチャーの話を聞いて疑問に思ったことをリアルタイムで尋ねる。
- ・資源・エネルギー問題について考えてきたことを確かめ、その解決に向けた対策を考える。

## 教師の指導のポイント

- 学習内容に関係する専門家などとの対話を通して、自らの考えを広め深めることができるようにする。
- ゲストティーチャーとのリアルタイムでの双方向の意見交流を通して、言語活動の充実を図るとともに、学びを深める。